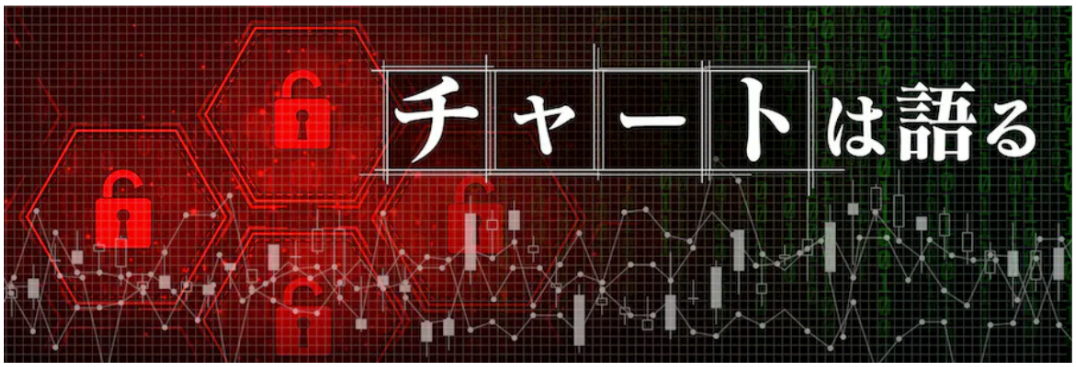
イー・レンジャーのかわら版 （2023 年 2 月第 81 号）

■　わがまち川越でのサイバー攻撃の状況

つい先日（2023 年 1 月 22 日）の日経電子版にショッキングな見出しの記事が掲載されました。

サイバー攻撃、日本に矛先　３年で攻撃数倍増

とのこと（下図）。
2021 年 10 月に、四国の病院が**ランサムウェアによって電子カルテシステムが乗っ取られ、診療や病院事務が一時停止**してしまったことは記憶に新しいところです。

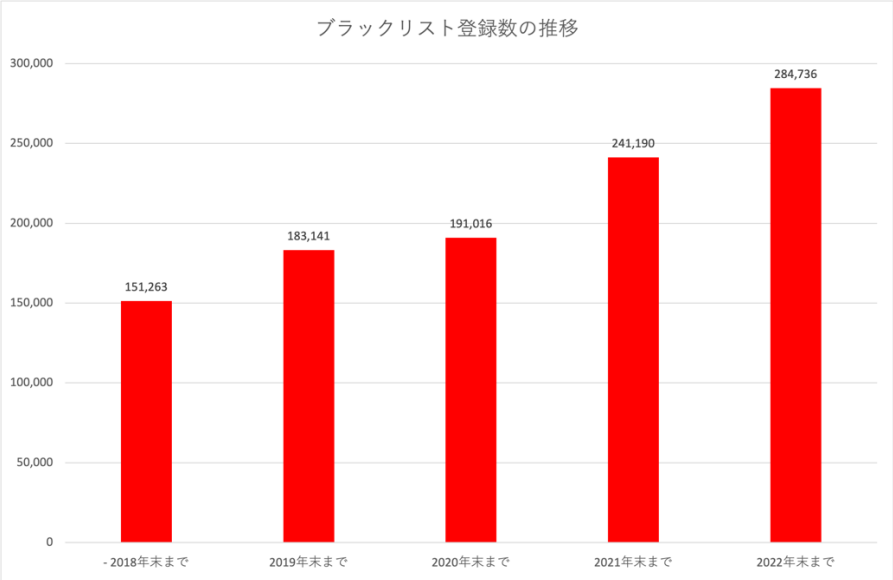


サイバー攻撃、日本に矛先　3年で攻撃数倍増

チャートは語る

図：2023/1/22 付 日経電子版より（https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC0971U0Z01C22A2000000/）

記事では、主に警察庁の設置した検出装置によるデータ、セキュリティベンダーの提出するデータを論拠にして、**2019 年と比較して 2022 年では海外からの攻撃が 3 倍にも増えている**、と述べています。
さて、**イー・レンジャーの管理しているウェブサーバー**でその状況を検証してしました。弊社のウェブサーバーは**攻撃者を IP 単位で締め出す**仕組みにしています。以下は締め出された攻撃者（ブラックリスト）の数の推移を表しているので、正確には**「攻撃参加者の増加傾向」**を表しています。
ウェブサーバーには川越を中心とした事業者様のサイトが設置してありますので、**「川越あたりを徘徊する攻撃者」**とも言えそうです。



図：攻撃者として登録されたブラックリスト（IPv4）の推移。

たしかに 2020 年頃から攻撃者が増えている傾向が見て取れますので、**PC だけでなくメールや通信機器のセキュリティ対策は今後ますます重要になる**と思われます。